

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/04/04号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



## 米備蓄放出計画の発表で100ドル割れ

NY原油先物相場は、1バレル=100ドルの節目を割り込む展開になった。米政府が大規模な戦略石油備蓄放出（SPR）放出を発表したことが嫌気されており、ファンドの投げ売りが膨らんだ。3月29日に行われたウクライナの停戦協議に前進が見られたとの評価から一時急落した後、停戦協議の長期化警戒感が蒸し返されて押し目買いを買い拾われていたが、備蓄放出の議論で改めて売り込まれている。石油輸出国機構（OPEC）プラスは3月31日の会合で5月に日量43.2万バレルの増産を合意し、大規模増産要請にゼロ回答となった。ただ、こちらは予想されていた通りの結果とあって材料視されなかった。

バイデン米大統領は3月30日、SPRから日量100万バレルの原油を6カ月にわたって放出すると発表した。5月開始が予定されており、合計で1億8,000万バレル以上の放出を目指す。また、4月1日には国際エネルギー機関（IEA）閣僚級会合で共同備蓄放出を行うことが決定された。具体的な割り振りは行われていないが、米国以外も備蓄放出に踏み切る国際協調が模索されている。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（3月25日時点）は、原油が前週比345万バレル減、ガソリンが79万バレル増、石油精製品が140万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## 石油備蓄放出計画が上値圧迫も、ロシア産供給不安で高止まり

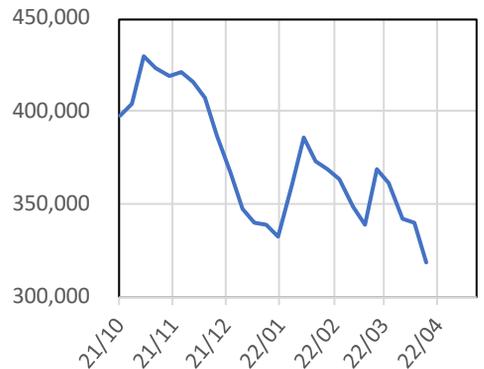
ロシア産の供給不安で国際原油需給が引き締まる中、基調は強い。まずは大規模な備蓄放出計画の消化が求められるが、一時的な売り圧力に留まり易い。ウクライナとロシアとの停戦協議が進展した際にも一段安の可能性が高まるが、需給ひっ迫状態解消の見通しが立たない以上、100ドル台定着が打診されよう。ロシア産天然ガスの欧州向け供給不安が一段と強くなっていることもポジティブ。

米政府は過去最大規模の備蓄放出を決めた。世界の石油需要の約1.8日分の備蓄を放出することで、ロシア産の供給減少分の穴埋めを目指すことになる。ただ、「脱ロシア」の構造変化への対応が求められる中、備蓄放出の効果は限定的かつ一時的なものに留まり易い。原油価格を高値誘導することで、増産と需要抑制を促すことが求められている状態が続く。

前週はウクライナの停戦協議について楽観と悲観とが交錯した。停戦合意の期待感が強まると、一時的な下振れリスクが高まる。ただ、いずれにしてもロシア産原油供給の減少は避けられない状態にあり、停戦合意の有無によって原油相場環境が劇的に変化することは回避されよう。ロシア産原油に対する制裁解除が実現するのかは不透明であり、欧州はいずれにしてもロシア産原油への依存度を削減する取り組みを継続する見通し。

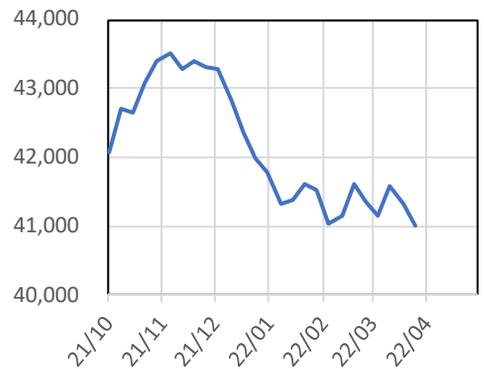
OPECプラスは、増産加速などの特別な対応を見送った。サウジアラビアやUAEなどOPEC加盟国はロシアとの関係性をより重視しており、OPECがロシア産の供給減少分の代替供給を行う可能性は低いことが再確認されている。原油需給安定化のためには、米国のシェールオイル、カナダ、ブラジルなどの増産対応が求められる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



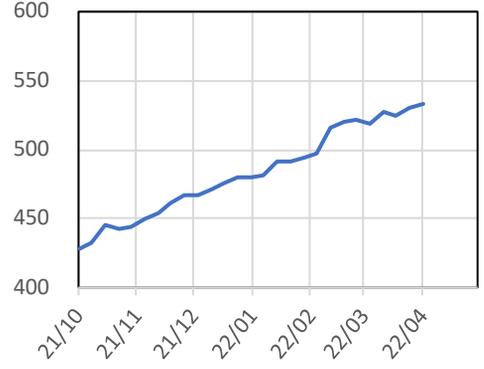
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

## 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

